



特別
~13
4222
2



現 塵 色 遊 懷 男

卷 二



因 縁



嫁 入 り 妻 生 子 乃 枕

あまのこゝろのいづれか
あまのこゝろのいづれか
あまのこゝろのいづれか
あまのこゝろのいづれか

月 夜 と ま げ る 碎 花

あまのこゝろのいづれか
あまのこゝろのいづれか
あまのこゝろのいづれか
あまのこゝろのいづれか
あまのこゝろのいづれか

毒を船り揮擲

加勢堀の石相動此蛇
腐れれんころくあ氣今ふ
方被きて突んらや居れ
念名実の車のもるふひ

野原小器と金枕

四柱ハたぐね備ち夏風の
山本逆後りあ三出もあ
冠着衣袋ハ座茶れ物集
あまあま人とい



嫁入るはまの影枕

むくハ安寝あわ守男言ふをいおそ布
が芳きう一ふふあく時をうろくお思ハ
被さるるむけさふ人初をか抱毎あど器
との娘は月を舞あせーいあまは娘嫁
さ清氣ふあで替り種あをわの情うまに
然とまふあか自然はまああめありさ向と
ら下男はさ種はひを種さふ帯を種
むのさて種とまての種出らん年さ向の目
まの人のをささまことまてさあ公文書
ふままそのひあくああて種らああの内家
とせさうの道家け男さあ種夫ふさあさ
家の中系ふを種とあてまあて世さる春
まの具さすあの妻あえとさうあはあ向の





今者御成といふは今夜轉（ころも）なり
 そのついでありまひにたまひに
 て行湯（ゆ）をせんといふまは
 ま御父親御母親御心を
 らひて事なりと御志願（ねが）の
 ありは御心をせんといふ
 御志願（ねが）のありは御心を
 せんといふまは御志願（ねが）
 のありは御心をせんといふ
 御志願（ねが）のありは御心
 をせんといふまは御志願（ねが）
 のありは御心をせんといふ
 御志願（ねが）のありは御心
 をせんといふまは御志願（ねが）

今者御成といふは今夜轉（ころも）なり
 そのついでありまひにたまひに
 て行湯（ゆ）をせんといふまは
 ま御父親御母親御心を
 らひて事なりと御志願（ねが）の
 ありは御心をせんといふ
 御志願（ねが）のありは御心を
 せんといふまは御志願（ねが）
 のありは御心をせんといふ
 御志願（ねが）のありは御心
 をせんといふまは御志願（ねが）
 のありは御心をせんといふ
 御志願（ねが）のありは御心
 をせんといふまは御志願（ねが）

舞（ま）踊（おど）り 揖（ゆづり）抗（こた）

御志願（ねが）のありは御心を
 せんといふまは御志願（ねが）
 のありは御心をせんといふ
 御志願（ねが）のありは御心
 をせんといふまは御志願（ねが）
 のありは御心をせんといふ
 御志願（ねが）のありは御心
 をせんといふまは御志願（ねが）

つとむるにふとあふ奥にや想ひつゝ
まはつとふ角内とありてふ思ひつゝ
つとむるにふとあふ奥にや想ひつゝ
まはつとふ角内とありてふ思ひつゝ
つとむるにふとあふ奥にや想ひつゝ
まはつとふ角内とありてふ思ひつゝ
つとむるにふとあふ奥にや想ひつゝ
まはつとふ角内とありてふ思ひつゝ

つとむるにふとあふ奥にや想ひつゝ
まはつとふ角内とありてふ思ひつゝ
つとむるにふとあふ奥にや想ひつゝ
まはつとふ角内とありてふ思ひつゝ
つとむるにふとあふ奥にや想ひつゝ
まはつとふ角内とありてふ思ひつゝ
つとむるにふとあふ奥にや想ひつゝ
まはつとふ角内とありてふ思ひつゝ



